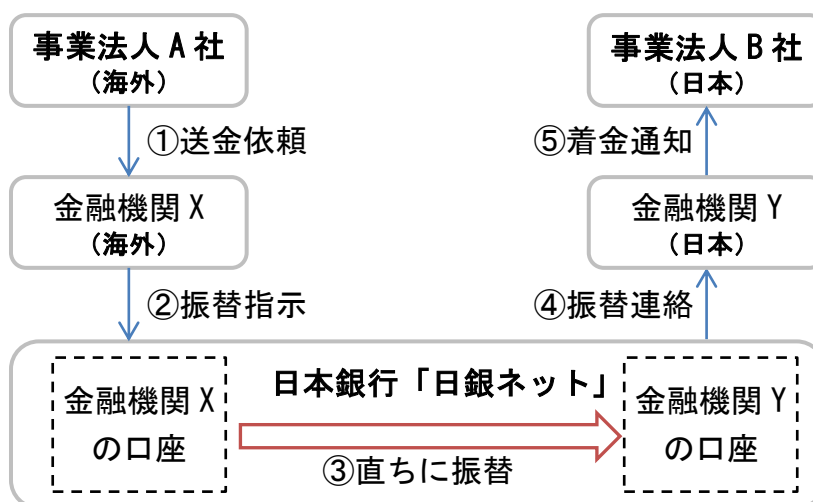


## ＜「日銀ネット」に関する補足資料＞

### 【「日銀ネット」と事業法人の皆様との関わり】

- ・「日銀ネット」は、日本銀行に当座預金口座（「日銀当預」）を有する金融機関同士の円の資金決済をオンラインで担う決済インフラです。事業法人の皆様におかれては、金融機関による決済サービスを利用して行う日々の円建て取引に伴う代金の送金・着金やグループ企業内における円資金管理に伴う資金移動などに際して、金融機関を通して間接的に「日銀ネット」をご利用頂いています。
- ・事業法人の皆様が、間接的に「日銀ネット」をご利用される主なケースとして、下図のようなクロスボーダーでの円建て送金・着金があります。
  - クロスボーダーでの円建て送金・着金について、その資金決済を金融機関同士で行うための仕組みは、「外国為替円決済制度」（運営主体：全国銀行協会）と呼ばれます。実際の資金決済については、全国銀行協会からの委託を受けた日本銀行が、金融機関からの指図に基づき「日銀ネット」により行っています。
  - なお、「日銀ネット」が利用されるのは、基本的には送金銀行と受取銀行が異なる場合（他行宛送金・他行からの着金）であり、同一銀行内の本支店間送金・着金等は、各金融機関の行内システムにより決済されるため、「日銀ネット」は利用されません。

### 「日銀ネット」を通じた即時決済の例 （クロスボーダーでの円建て送金・着金の場合）



※送金銀行と受取銀行が異なる場合であっても、例えば、受取銀行内にある送金銀行名義の口座を介して決済する場合や、第3の銀行内にある受取銀行名義・送金銀行名義の両口座を介して決済する場合は、「日銀ネット」は利用されません。

※日銀ネットの稼働時間は、8:30（年末日を除く月末日は 7:30）～21:00 ですが、全ての金融機関が決済への対応を求められる時間帯は 9:00～15:00（2015 年 10 月より、従来の 14:00 から延長）で、それ以外の時間帯は、任意で参加する金融機関同士の決済となります。なお、金融機関が事業法人からの送金依頼を受け付ける時限（カットオフタイム）については、各金融機関の事情等により異なります。